

せとうちちょう 議会だより 第168号

平成 30 年 2 月発行



瀬戸内町きゅら島交流館棟上げ

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会
〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地

こんなことを決めました

第4回定例会

12月13日~18日

第4回（12月）定例会では、補正予算議案9件、条例改正議案5件、契約議案6件、その他議案2件の計22件の議案を審議し、それぞれ可決しました。

主な議案の要旨は次のとおりです。

一般会計補正予算 (第4号)

主な補正内容は、総務費

の「しま元氣プロジェクト費」に、ふるさと応援基金事業として30,200千円、民生費の「障害福祉費」に52,351千円、災害復旧費の「港湾施設災害復旧費」に16,169千円を追加し、農林水産業費の「園芸振興対策事業費」から10,924千円、土木費の「港湾建設費」から17,984千円を減額しました。

総額121,151千円を追加しました。

瀬戸内町国民健康保険条例の一部改正について

平成30年度より国民健康保険税の運営主体が町から県へ移行する制度改正に伴う葬祭費の支給額の変更に關する条例です。

主な改正点は、葬祭費の支給額が「1万円」であったものを「2万円」に改めるものです。

休憩施設（交付金） 建設工事（1工区） （2工区）の変更契約を可決

1工区の主な変更内容は、敷地内の地中にある既設側溝等の撤去工事、地盤改良杭の総掘削長の変更、及び外構工事における駐車場、東屋の整備で、変更後の請負金額は、11,228,524円増の413,620千円となります。

2工区の主な変更内容は、屋内、屋外階段の照明追加、

施設看板ライトアップ照明の追加、大ホールの一部照明変更、風除室デザイン壁照明の変更、自動火災警報知設備工事防煙設備に伴う装置の追加で、変更後の請負金額は、636千円増の73,320千円となります。



瀬戸内町きゅら島交流館

瀬戸内町不当要求行為等対策条例の制定について

暴行、脅迫、困惑行為その他の違法又は不当な手段を用いて、役場又は役場職員に対し、自己もしくは第三者が利益を得られるように働きかける行為、又は行政の公正・中立性を阻害するように働きかける行為に対して、組織として毅然と対処するとともに、それらを未然に防止するための組織的な体制を整備し、もって公務の円滑かつ適正な執行を確保し、町民に信頼される公正公平な行政の実現を図ることを目的として制定されました。

教育委員会委員の任命について

「福田 豊久」氏の教育委員の任命に同意しました。

一般質問

第4回（12月）定例会では、8名の議員が町政全般にわたり、質問・提言を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



柳谷 昌臣議員

世界自然遺産登録に伴う観光関連について

議員 外国人観光客の対応について

町長 奄美群島観光物産協会（ぐーんと奄美）では、指差し英会話シートを作成し、英会話ができなくても案内できるよう取り組んでいるところであります。その他には、通訳案内業務を専門とする奄美国際ネットワークへも依頼するなどして、増加が見込まれる外国人に対応していきたいと考えております。

瀬戸内創生マニフェストについて

議員 医療機関の充実（小児科・産婦人科整備の成果は）。

町長 本町における小児科医療は、瀬戸内徳洲会病院において、毎月10日間程度行われています。また、へき地診療所では、総合診療科として小児科検診も行っており、昨年度と比べて充実した状況になっています。

議員 子育ての経済負担の軽減対策成果は。

町長 新たな制度の導入等により子育て世帯の育児及び費用負担が多少なりとも軽減し、待機児童問題解消など、保護者が共に就業しやすい環境が整いつ

つあり、「子育てのしやすい町」として少しずつ前進しているのではないかと感じているところです。

では、今年、企業立地等促進条例に基づく「企業立地協定」を2社と結んでおります。



立地協定したリサイクル関連施設

2社とも本町の産業を振興し、かつ、雇用の増大等に寄与し、公益上必要と認められるものであります。

現在、大きく広がっている、民間との連携協定の取り組みを中途半端なものに終わらせず、さらに深化させるためには、行政側のより踏み込んだ関与が求められるとされており、受益者である住民のメリットを優先する覚悟が問われているものと思っております。

議員 地元企業・各種団体との連携強化による地域力拡大の成果は。

町長 成果といたしまし



安 和弘議員

町長の政治姿勢 施策を問います

議員 自衛隊施設建設に関わる業者の為にプレハブ建設、設置用地の整備について伺います。

清水、町田酒造所有地は、以前、町有地であったがいつ頃売却し、その価格は、買い戻す考えは

町長 平成元年12月25日、建物9,000千円、土地141,000千円であり、現段階では、買い戻しの為の具体的な話し合いは、至っていません。

議員 芦瀬の件で、公開質

問状が提出されたときく。その文言中「産業廃棄物が埋まっている。」とあるが、その事実関係と、取り出す意思はあるか、また、当該施設の取得価格と坪数を伺います。

町長 公開質問状に関する件は、和田久法律事務所に対応を依頼しているところであります。

芦瀬の土地の価格は60,000千円で、坪数は、847坪であります。企業誘致、世界自然遺産センター建設用地などに活用する為に取得しました。

議員 約1年前、新造船フェリーが、可動橋に衝突するという事故がありました。原因はエンジントラブルと聞いている。その認識でよろしいでしょうか。又、最近になって、当時の船長に

ペナルティーが課せられると聞いておどろいている。詳しくお聞きしたい。



新船フェリー

ペナルティーについては、運航業務に必要な町営定期船安全管理規定や作業規定に違反している疑いがあるとのこと、船長及び町にペナルティーが課せられると聞いております。

議員 今まで町の答弁は、「エンジントラブルが原因で船長には責任はない。」と言ってきた。船長の話など、これっぽっちもしていないかったし、もしこれが本当なら町の冷たい仕うちに鳥肌が立つ。過失がなかったのに何故責任の一端を担がなければならぬのか、納得がいけない。

町長 可動橋に衝突した原因であります。クラッチの不具合によるエンジントラブルであります。その日に操船していた船長のペナ

町民の声を届けます 考えを伺います

議員 カケロマからの一便で、仕事で古仁屋に来た人が天気の急変でフェリーが欠航になり、4千円も払って貸切船で帰らなければならなかった。そういう時、町で貸切船組合と協議し、乗船客は代船並みの金額になるよう何らかの補助はできないものか。

町長 町営定期船は、運航基準で運航するので、それを越える場合や超えることが見込まれる場合は、欠航することになります。その時は、当然代船による運航はできないことになり、町が認めることのできない代船（貸切船）への運賃補助は適切でないと考えております。



渡島 芳臣議員

自衛隊施設整備 について

議員 芦瀬地区と清水地区で民間所有地を自衛隊用施設建設の為、整備をしていますが、町が仲介して進めているのか、この内容を伺います。

町長 九州防衛局熊本防衛支局から陸上自衛隊庁舎等建築に係る作業員用仮設宿舍建設の為の用地について依頼がありましたので、町が土地所有者の了解を得て情報を提供しました。

議員 芦瀬地区の町が購入した土地を整備しています

が、町が行っているのか、この整備費用はいくらを見込んでいるのか、町が負担するのか、自衛隊へはどのような貸付けになるのかお尋ねします。

町長 町有地でありますので、町が整備しております。整備費用は概算で5,000千円程度を見込んでいます。この土地は陸上自衛隊庁舎等建築受注業者に貸付ける予定です。

観光振興について

議員 本町への観光客増加に伴い、各観光施設の見直しを行い、観光客に喜んでもらえる様に、施設の充実を図る必要がありますが、観光客増に向けての今後の事業計画を伺います。

町長 観光事業計画につき

ましては、今年度中に策定を予定しています観光振興計画に基づいて事業を推進していく考えであります。現在ある施設の見直しについても年次的に改修をしております。

敬老祝金について

議員 敬老祝金を支給していますが、支給年齢、支給時期を伺います。

町長 今年は85歳に7千円、90歳から99歳に20千円、100歳以上に70千円を支給しました。100歳誕生日支給は今後検討します。

環境整備について

議員 加計呂麻観光で人気のある安脚場戦跡に通ずる道路の工事着手予定を伺います。

町長 県の補助事業で出来ないか協議しています。着工は未定であります。



崖崩れの状況（安脚場戦跡）

ず、運転に危険な箇所があります。現状に合わせて危険な箇所から伐採する事は出来ないかお尋ねします。

町長 緊急性の高い路線については業者に依頼し、随時伐採を実施して参ります。

議員 県道安脚場々実久線の勝能集落内の県道は幅員が狭く、軽自動車どうしでも二台す

議員 加計呂麻地区の町道の伐採を行っておりませんが、伐採作業が追い付か

れ違うことが出来ない箇所があります。レンタカーも増え危険であります。早急な整備が必要ですが、県

との協議はなされているのか、整備計画を伺います。

町長 通行に支障をきたしていることは認識しています。県への要望を行い、早期整備の実現に向けて取り組んで参ります。

議員 嘉徳集落の海岸整備はどの様な工法になるのか伺います。

町長 工法は事務局から示される見込みです。



中村 義隆議員

世界自然遺産 登録について

議員 ユネスコ調査官の反応は。

教育長 現地調査は、国・

県の担当者と有識者や地元
の自然保護関係者らが同行
し「推薦区域の視察をと
して遺産の価値と保全の取
り組みをしっかりと説明」す
ることができIUCN（国際自然
保護連合）側からは「貴重
な生態系だけでなく、様々
な人が関わり地域全体で自
然環境保全に取り組んでい
ることが重要であり、評価
できる。」「遺産の推進地
だけでなく、地域全体とし
ての保全が重要」との評価、
指摘がありました。正式な
追加情報要請等はこれから
になります。

台風5号 災害について

議員 観光地でもある安脚
場戦跡公園に続く道路の状
況は。



油井岳展望所から見た大島海峡

町長 安脚場集落から戦跡
公園までの管理道路は今年
8月に襲来しました台風5
号により、崩土が4カ所、
路肩決壊が2カ所発生して
おり通行できない状況であ

ります。この管理道路の修
復につきましては、今回の
一般会計補正予算に設計業
務委託料を計上しておりま
すが、修復工事につきまし

ては、県の補助事業として
採択できないか申請協議し
ているところであります。

町民の健康増進 について

議員 グラウンドゴルフ場
の整備については再三、質
問していますが進展がみ
られません検討されている
のでしょうか。

教育長 グラウンドゴルフ
場につきましては、これま
でもお答えしたとおりグラ
ウンドゴルフ連盟と政策推
進室・社会教育課との三者
で話し合いを行いました。そ
の結果をふまえ、要望にお
応えできるよう、清水公園
の抜本的改修計画の中で立
案して参りたいと考えてお
ります。



元井 直志議員

陸上自衛隊の開隊に伴う受入体制の充実について

議員 陸上自衛隊子弟の教育環境整備についてはどのように考えているか。

教育長 陸上自衛隊の開隊に伴う転入児童生徒の人数については把握できておりませんが、阿木名集落に建設予定の自衛隊員住宅への転入児童生徒の受入れについては、阿木名小中学校の現有施設で対応できるものと考えております。

議員 およそ65世帯の家族が居住するものと予想されるが、奥様方の仕事について

では、提言として、不足しているヘルパー養成はどうかと考えるがどうか。

町長 訪問介護事業所によつては一時的な不足が生じることもあるかとは思いますが、全体として常に不足している状況にあるとは認識していません。町としては、昨年度、「生活支援サポーター」の養成講座を実施し、軽度な生活支援を必要とする要援護者に対してのサポーターを養成しました。修了者の中で希望する方は訪問介護事業所に登録し、要援護者の支援をしていただくことになっていきます。

児童生徒の通学時見守り活動について

議員 子どもたちを危険から守るために各地で住民ら

による見守り活動が広がっているが、運営には課題もある。町としての対応はどうか。



雨の中の見守り活動

会員及び地域住民等からなるボランティアの方たちが実施していただいているところであり、教育委員会として大変感謝しているところであり、

教育長 町内の小中学校において、登下校時の通学路で児童生徒の安全確認及び声かけを教職員、PTA

見回り等防犯対策について、今後とも連携を図り、地域とともにある学校を目指してまいりたいと考えております。

議員 英語力の向上策としてはどのように考えているか。

教育長 英語の授業では、コミュニケーションへの関心・意欲・態度を高めながら理解させ、学習した文法等を使って正しく相手に伝えられるよう、生徒同士でたずねたり答えたりするやり取りを行っています。また、適宜デジタル教科書を使ったり、ALTによるネイティブの会話にも触れさせながら学びを深めています。

中学校の英語部会では年1回英語暗唱大会を開催し、生徒の英語力の向上につなげています。



榊 藤光議員

職員の研修について

議員 新規職員の接遇、電話対応などの研修はどのような方法で実施しているのか。また、町民から、職員の対応についてのクレームの調査などをされたことがありますか、お伺いいたします。

町長 新規職員の接遇、電話対応等の研修につきましては、県が実施しています。初任者研修に新規職員が参加し、実施しております。また、クレームの調査につきましては、実施していません。

議員 接遇は町民との信頼関係を構築するには重要で

す。そのために「接遇マニュアル」を作成し職員が常に手元に置きながら実践する、また、ご高齢者などの来庁者に対しては、要件をよく聞き、他の係まで案内するなど、丁寧な案内をしていただきたいと思います。いかががでしょうか。

町長 検討したいと思えます。

職員の意識改革について

議員 本町の人口衰退問題、学校存続問題、高齢化社会問題、限界集落問題等々本町を取り巻く環境が厳しい中で、諸問題を解決するには職員一人一人の意識改革が必要と思えます。町長のご所見をお伺いいたします。



新人研修状況

改革になっていると思えます。

また、他の職員についても県が実施しております研修や町単独の研修に積極的に参加し、29年度は女性1名が県庁で研修し30年度においても職員の派遣研修を計画していますが、奄美群島広域事務組合などでの研修においても計画し、資質の向上・意識改革に積極的に取り組んでまいります。

町長 今年度も現在19回の研修を実施しています。新規採用職員が自ら講師の手配や研修内容を決めて実施しており他の課の職務についても学ぶことにしています。また、講師となる各課の職員についても改めて自分の職場を見直したり、経験を語ることで縦割りの関係を解消し、横の繋がりにもかなりの資質向上・意識

企画課長 奄美群島の人口

予測データからみる本町の予測ですが2060年には4,000人を下回るとの予測がでています。

議員 次に保健福祉課長に伺います。日本の高齢化率が26.7%に対し、本町の高齢化率は平成26年度が33.9%、27年度が34.5%、28年度が35.2%と毎年1%づつ数値が推移しています。特に古仁屋市街地の高齢化率が進んでいることに驚きですが、今後の推移はいかがでしょうか。

議員 企画課長に人口問題でお尋ねいたします。平成26年度には総人口9,492人でしたが、今年度は9,031人です。この3年間で332人の人口減少です。将来の推計人口の予測データをお示しください。

保健福祉課長 総人口に占める、65歳以上の方の割合を高齢化率といいますが、団塊世代と言われる方々が75歳を迎える2025年頃には43%の予測をしています。人口減少に伴い高齢化社会は進むものと思えます。

議員 本町の57地区の内29集落が限界集落です。人口減少問題、高齢化社会問題など厳しい諸問題などに職員の皆さんが危機感を共有して対処して頂きたいと思えます。

町長 職員のより一層の意識改革を進めながら、町民、各郷友会の皆さん方と共に「チームせとうち」で取り組んでまいります。



池田 啓一議員

田舎バス

議員 フェリーについて今後の運航予定、現在の状況、課題、対策を伺います。

町長 今後の運航予定と現在の状況であります。新船フェリーかけろまは、Aコープ前旧岸壁からの運航を旧船フェリーに代わって実施できるようトライアルを重ねておりましたが、両頭船という船体構造の違いから低速時における直進性が悪く、特に古仁屋港内における操船が難しいといった理由により、来年2月に予定されています可動橋修復完了までの間は、現状どおり旧船フェリーかけろまでの運航継続を決定しております。

ただし、新たに可動橋が使えない等の状況が発生した場合に備えて、Aコープ前旧岸壁へのトライアルにつきましましては、今後も継続して実施して参ります。

課題につきましましては、通常の船舶であれば船首部分がV字型になっており、波

を切って進む直進性がありますが、両頭船の場合、船首部分も船尾と同様にスクリューと舵がついているためU字型になっており、このため直進性がなく、低速になると右や左に旋回してしまうということでありま

す。また、岸壁についても静穏な入り江で潮流の影響や周囲に工作物のない瀬相港・生間港に比べて、古仁屋港は埋め立てにより沖に広げた区域に岸壁があるため、潮の干満による潮流の影響を大きく受けるつえに、

静穏度を高めるために防波堤の間隔も狭く、貸切船等と混み合ったりすることもあり、潮流だけでなく、冬の場の西風の強い日や波の高い日の入港も非常に危険であります。

今後の対策につきましましては、両頭船の仕様や性能を

更に習熟させるなど、徹底した安全運航に努めて参りたいと考えております。

しては、11月13日までに各種団体への説明を終えております。



旧船フェリー

その後、説明を行った各種団体により誘致に向けての協議を進めるようこと、要望書を頂いたことから、現在、鹿児島県との誘致に向け協議を行っているところでありま

議員 留学制度について、現状と課題、そして今後の計画等を伺います。

議員 大型クルーズ船寄港地誘致について、現在の進捗状況を伺います。

町長 大型クルーズ船寄港地誘致の進捗状況につきま

教育長 にはんの里・加計呂麻留学生については、現在小学校で16名、中学校で7名となっております、総数で23名であります。

課題としては、親子留学という事で保護者の就業や

住宅不足があげられます。

また、古仁屋小学校、古仁屋中学校及び阿木名小中学校以外の小中学校の児童生徒数の減少が顕著であり存続が危惧される場所があります。

その対策として、平成30年度から古仁屋小・中学校及び阿木名小中学校以外の小中学校についても、「にほんの里・加計呂麻留学制度」の対象範囲としたところであります。



澤 佳男議員

「みなと祭り」 パレード

議員 パレードの運営にきこちなさを感じたが、その

理由として何が考えられるか。

町長 「みなと祭り」におけるパレードについては、協賛会総会の中でも協議しているところであるが、どうしても、パレード後半になるとみこしが疲れて動かなくなってしまう、踊り連が詰まる、といったところが改善されていない。

来年度は、みこしと踊りの時間をずらして実施する等の対策を総会で協議し、改善したいと考えている。

議員 「みなと祭り」で長年使用してきているパレードの曲と踊りに、清新さを感じられない。曲と踊りを新しく変えてみることも考えるべきではないか。

町長 みなと祭りのパレードと踊りについては、今年

から新たに「加計呂麻音頭」を加えたところであるが、曲や踊りについて、提案があれば協賛会総会にはかかって協議したい。

しんで参加しているようには思えなかった。義務で参加しているような気配さえあった。曲と踊りがおもしろくないからではないかと思った。新しい曲と踊りを、



パレードの様子

その道のプロに依頼して、作曲と踊りの振り付けをしてもらって、みんなももっと楽しく、積極的にパレードに参加できるようにできないものか、と考える。

町長 「みなと祭り」については、協賛会の中で協議するが、曲や踊りにしても、パレードの運営方法についても、いろいろな意見が出て、試行錯誤の中でやっているところである。新たな曲を入れることで、「みなと祭り」の魅力を広げることにもなると思うので、曲についても今後検討していきたい。議員にも参加してもらいたいという町民の声もあるので、議員の皆さんにもパレードに参加してもらいたい。

議員 参加できるようにしたいと思っている。富山県の『おわら風の盆』をインターネットで見たりすると、昔からの伝統のある踊りだから、味わい深さがあるし、踊りに参加している人たちも、自分たちの伝統文化に誇りを持って参加しているのがよくわかる。私たちの町でも、自分たちの「みなと祭り」の曲と踊りに愛着を持てるような、いいものがないものかと考えている。

議員 パレードを見ていて、踊っている人たちが心底楽

委員長報告

第4回定例会では、総務経済常任委員会（池田啓一委員長）に付託されていた案件に対しての委員長報告が、なされました。（要旨は次のとおりです。）

総務経済常任委員会

陳情第6号

『商工会に対する平成30年度補助金に関する陳情書』審査報告

平成29年11月10日、商工会の方へ出向き、商工会長、事務局長と意見交換を行い、12月1日、商工観光課担当者との意見交換を行いました。このような経過を経て、委員からは陳情第6号「商工会に対する平成30年度補

助金に関する陳情書」については、「運営補助金等」は担当課の予算要求に配慮して町商工会の活性化につながるよう善処していただきたい、との意見でした。

「県連合会への各市町村商工会負担金分の補助」については、商工会との協議を密にして対応していただきたい、との意見で、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決定致しました。以上の審査を通じ、当委員会として次の意見を集約決定し当局に申し入れいたしました。

運営補助金とプレミアム商品券事務費補助金については、担当課と商工会との協議に配慮し、商店街の活性化につながるよう善処していただきたい。
「通称：かご市」への町商工会負担分の補助について

は、町商工会との協議を密にし、対応していただきたい。



商工会との意見交換（総務経済常任委員）

継続審査中の請願・陳情

陳情1号（継続審査中）

『タラソテラピー施設建設』

文教厚生常任委員会

陳情9号（継続審査中）

『阿木名地内に係る温泉地上探査について』

総務経済常任委員会

閉会中の継続調査

『斃死魚及び内蔵等の有効活用についての調査』

総務経済常任委員会

『議会改革に関する調査』

『持続可能なまちづくりに関する調査』

各特別委員会



編集後記

かつては人生50年という時代があり、今は人生100年で2倍にもなろうとかしている。こんな時代では大体60歳定年からすると次は第2の人生としてもまだ、40年生きねばならない。定年後の人生の方が重要であり自分の思うところの生き方ができる。どのように過ごすかはとても大切。ガンジーの言葉みたいに生きよう。「明日死んでもいいかのように生きよ！永遠に生きるかのように学べ！」死ぬその時まで学ぶ事を忘れてはならない。

議会報編集委員会

委員長	澤 佳男
副委員長	元井 直志
委員	岡田 弘通
〃	向野 忍
〃	池田 啓一
〃	中村 義隆
〃	町田 孝明